

芦教委報告第6号

令和7年度全国学力学習状況調査の報告について

標記の件について、別紙のとおり報告します。

令和7年8月28日提出

芦屋市教育長 野村 大 祐

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果

文部科学省が実施した、令和7年度の「全国学力・学習状況調査」について、芦屋市全体の結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 芦屋市全体の結果について

今年度の教科に關しての調査は、国語、算数・数学、理科の3教科で実施されました。本市の平均は、いづれの教科でも小中学校ともに全国平均を上回り、市教育委員会では、「評価できる結果」と考えています。

一方、質問紙調査結果では、本市児童生徒の学習への意欲や自己肯定感について課題が読み取れることから、**Ashiya PEACE プロジェクト**を継続して実施し、**改善**に向けて取り組みます。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。
- ③そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象学年及び実施状況

対象学年	在籍数（人）	受検者数（人）
小学校6年生	743	710
中学校3年生	560	492
合計	1,303	1,202

(3) 調査実施日 令和7年4月14日（月）～17日（木）

(4) 調査の内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
 - ア ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - イ ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等※調査問題では、上記アとイを一体的に問うこととする。
出題形式は、各教科で記述式の問題を一定割合で導入する。
- ② 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

3 調査結果の公表について

(1) 国・県の基本方針

本調査により測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえ、結果の公表にあたっては、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮することとしています。

(2) 本市の基本方針

調査結果を十分に把握・検討し、今後の教育施策や教育実践の改善に反映していくことが重要であるとの基本的な考えのもと、説明責任を果たすためにも市全体としての結果を示すこととしています。

4 本市の各教科の調査結果の概要

【全体の結果一覧】

校種	教科		国語	算数・数学	理科
小学6年生	全国	平均正答率	66.8	58.0	57.1
	芦屋市	平均正答率	71	68	61
		全国比較	106	117	107
		評価	良好	極めて良好	良好
中学3年生	全国	平均正答率	54.3	48.3	50.3
	芦屋市	平均正答率	56	57	52.2
		全国比較	103	118	+19
		評価	おおむね良好	極めて良好	

※全国比較は全国の平均正答率を 100 とした場合の本市の数値。評価は 115 以上を「極めて良好」、105 以上 115 未満を「良好」、95 以上 105 未満を「おおむね良好」、95 未満を「課題あり」としている。

※令和7年度「中学校理科」は IRT に基づくスコア（IRT スコア）で示している（自治体ごとの「中学校理科」結果を、500 を基準にしたスコアで表示）。

【小学校 国語】

問題番号	設問の概要	平均正答率	
		芦屋	全国
3三(1)	▲1【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄 A に当てはまる内容として適切なものを選択する。	47.1%	40.8%
3三(2)	▲2【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】【資料3】【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く。	61.9%	56.3%

【課題と改善策】 ▲1 ▲2（無回答率 14 パーセント）

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題が見られます。そこで、授業においては、複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読むことができる取り組みを行います。また、

文章中に用いられている図表などが文章のどの部分と結び付くのかを明らかにしたり、文章と図表などの関係を捉えて読んだりすることで、内容についてより深く理解したり解釈したりすることができるよう指導します。

【中学校 国語】

問題 番号	設 問 の 概 要	平均正答率	
		芦屋	全国
3 四	▲1 「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く	18.5%	17.1%
2 四	▲2 発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く	24.8%	23.2%

【課題と改善策】

- ▲1 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについては引き続き課題が見られます。そこで、授業においては、あとの展開を予測しながら作品を読み、文章の構成や展開の効果について考える学習活動を取り入れます。
- ▲2 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題が見られます。そこで、授業においては、伝えたい内容が適切に伝わるよう効果的に資料や機器を活用することができるように、話の内容が十分に踏まえられていないスライドの改善案を検討する学習活動を取り入れます。

【小学校 算数】

問題 番号	設 問 の 概 要	平均正答率	
		芦屋	全国
3 (2)	▲1 $3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4 + 2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く。	37.1%	23.0%

【課題と改善策】

- ▲1 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを記述することに課題が見られます。そこで、授業においては、分数の加法について、共通する単位分数を見だし、既習の整数の加法に帰着できるのかを考察する学習活動を取り入れます。

【中学校 数学】

問題 番号	設 問 の 概 要	平均正答率	
		芦屋	全国
6 (2)	▲1 $3n$ と $3n + 3$ の和を $2(3n + 1) + 1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する	34.9%	25.7%

【課題と改善策】

- ▲1 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題が見られます。そこで、授業においては、連続する二つの3の倍数を $3n$ 、 $3n + 3$ として和を計算した式である $6n + 3$ がどのような式に変形できるかを考察しながら、文字を用いた式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明する学習場面を取り入れます。

【小学校 理科】

問題 番号	設 問 の 概 要	平均正答率	
		芦屋	全国
2 (1)	▲1 アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ	15.4%	10.6%
3 (4)	▲2 レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に見いだした問題について書く	30.0%	29.9%

【課題と改善策】

- ▲1 電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識を身に付けることに課題が見られます。そこで、授業においては、学習した知識を身の回りで見られる事物・現象と関係付けたり、様々な内容で習得した知識を整理したりして、物質の性質に関する理解を深められるようにします。また、「磁石の性質」と「電気の通り道」では、鉄、アルミニウム、ガラス、木など、同じ対象物を用いて学習することが多く、それぞれの内容で習得した知識を物ごとに整理し、まとめるなどして、理解を深めるような活動を取り入れます。
- ▲2 レタスの種子の発芽の条件について、既習の植物の発芽の条件との差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することに課題が見られます。そこで、授業においては、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目した問題を見いだす活動を取り入れます。

【中学校 理科】

問題 番号	設 問 の 概 要	平均正答率	
		芦屋	全国
1 (4)	▲1 生物1から生物4までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する	32.7%	29.7%
1 (2)	▲2 「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する	34.8%	46.2%

【課題と改善策】

- ▲1 生命を維持する働きに関する知識を概念として身に付けることに課題が見られます。そこで、授業においては、「呼吸を行う」「光合成を行う」などの生物の共通点や相違点を挙げ、生命を維持する働きに関する知識を基に、それらの特徴からいろいろな生物について考察する学習場面を取り入れます。その際、直接観察することが難しい生物については、博物館等で公開している動画等を1人1台端末で視聴するなど、ICTを活用した学習を行います。
- ▲2 見いだした問題から適切な課題を設定することに課題が見られます。そこで、授業においては、身の回りの事象から生じた疑問や問題が解決可能かどうかに着目し、科学的な探究の課題を自分の言葉で表現する学習場面を取り入れます。

5 教科の学習に対する子どもの意識の変化

設 問	教 科	小学校				中学校			
		R5	R6	R7		R5	R6	R7	
		芦屋	芦屋	芦屋	全国	芦屋	芦屋	芦屋	全国
勉強が好き (どちらかという好き)	国語	60.3	61.9	59.4	58.3	58.3	65.1	60.5	57.9
	算数・数学	66.0	65.6	61.4	57.9	64.7	57.4	57.1	53.8
	理科		81.6	80.0	80.1		65.6	55.1	63.8
	英語	60.7	57.5			55.3			
授業はよくわかる (どちらかというわかる)	国語	83.5	85.7	84.7	82.8	73.1	84.9	80.3	77.0
	算数・数学	81.9	87.5	83.3	78.3	81.4	80.4	77.3	70.3
	理科			90.5	88.9			63.5	71.4
	英語		75.7			70.4			
勉強は大切 (どちらかという大切)	国語	90.8	93.6			89.9	94.4		
	算数・数学	90.5	95.7			88.1	86.9		
	英語	86.8	89.2			88.9			
授業で学習したことは将来、役に立つ(どちらかといえば、役に立つ)	国語	88.0	91.6	89.2	90.4	85.5	88.0	86.5	88.3
	算数・数学	90.4	94.0	90.7	91.6	76.0	74.6	67.8	75.2
	理科			81.0	79.9			62.3	63.4
	英語					90.3			

※「勉強は大切」の質問項目は今年度なし

小学校

- ・全ての教科において、学習への意欲や、学習の有用感など、各質問項目において、全体的に昨年度より数値が低くなりました。しかし、全国と比較すると、全国比よりも高い数値の項目数が6項目あり、去年度よりも3項目増えました。
- ・理科における「勉強が好き」、国語・算数・数学における「授業で学習したことは将来、役に立つ」の項目においては、去年度より数値が下がり、また、全国比と比較しても低い数値です。

中学校

- ・国語・数学においては、「勉強が好き」「授業はよくわかる」と肯定的な回答が全国比よりも高いです。
- ・理科においては、学習への意欲や、学習有用感など各項目において全国比より低い数値です。
- ・「授業で学習したことは将来、役に立つ」の項目については、全ての教科において、低い数値です。

【指導の改善の方向性】

・「授業で学習したことは将来、役に立つ」の項目について（資料①②参照）

結果を見ると、「授業で学習したことは将来、役に立つと思う」という項目において、全国平均を下回る状況が明らかになりました（小学校理科以外）。すなわち、**芦屋市の児童生徒は、学習内容と自らの将来や生活とのつながりを十分に実感できていない傾向がある**といえます。学習そのものへの意欲や意味づけが弱まることは、知識・技能の定着だけでなく、主体的に学ぶ態度の形成にも影響を及ぼすことが懸念されます。

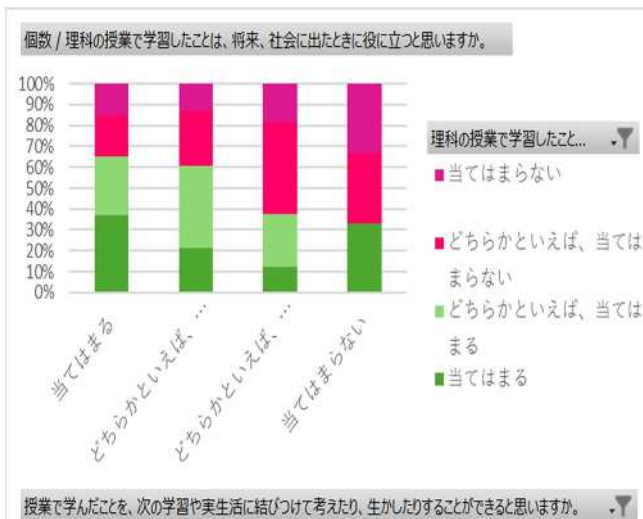
この背景には、授業の中で「なぜ学ぶのか」「学んだことがどのように社会や将来につながるのか」という視点が十分に示されていないことや、子どもたちが学習内容を自分事として捉える機会が少ないことが考えられます。また、探究的な学びや体験活動の場が不足していることも一因となっている可能性があります。

今後は、各教科の学習内容を実生活や社会課題と結び付ける授業改善を進めることに取り組みます。例えば、地域の特色を生かした学習やキャリア教育との関連を意識した単元構成、探究的な課題設定による学びの深化によって、子どもたちが学習をより「自分ごと」として捉えられるような授業改善に取り組みます。また、特に数値の低かった中学校理科について、生徒質問紙のクロス集計を行うと、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりすることができますか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒は、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問項目に肯定的に回答していることが分かりました（他の教科においても同じ傾向）。1時間の授業を、その時間で完結させるような授業ではなく、**その日の学習を次の学習につなげたり、学んだことを実生活につなげて考えたりするなど、「学習したことを生かしてさらに考えを深める」ような活動を取り入れること**によって、児童生徒の学習に対する有用感を高めていけるように取り組みます。

資料① 各項目の人数



資料② 各項目の割合



6. 『自分自身に関すること』、『他者とのかかわり』、『学校や先生に関すること』に関する意識の変化

設 問		小学校				中学校			
		R5	R6	R7		R5	R6	R7	
		芦屋	芦屋	芦屋	全国	芦屋	芦屋	芦屋	全国
自分にはよいところがあると思う。 (どちらかといえば当てはまる。)	A	82.5	84.7	86.8	86.9	84.0	80.8	87.1	86.2
将来の夢や目標を持っている。 (どちらかというと思っている。)		74.1	80.0	77.0	83.1	67.7	67.0	65.6	67.5
自分と違う意見について考えるのは 楽しい。(どちらかという楽しい。)		67.4	70.1	78.1	78.1	79.7	78.0	79.1	79.2
普段の生活の中で、幸せな気持ちに なることがよくある。(ときどきある。)		86.2	91.1	92.1	93.0	87.5	88.8	92.1	91.6
人が困っている時は、進んで助けて いる。(どちらかという助けている。)	B	87.5	90.5	92.1	93.7	90.3	90.8	89.7	90.9
いじめは、どんな理由があってもい けないことだと思う。(どちらかとい うと思う。)		94.6	94.6	95.8	97.2	95.3	95.5	95.7	95.9
人の役に立つ人間になりたいと思 う。(どちらかというと思う。)		94.1	94.1	94.7	96.4	94.6	95.3	96.3	96.6
友達関係に満足している。(どちらか といえば当てはまる。)		88.1	88.3	89.4	91.7	91.1	87.1	90.8	91.4
先生は自分のよいところを認めてく れていると思う。(どちらかというと認め てくれていると思う。)	C	81.3	87.0	90.4	92.2	83.1	86.6	90.5	92.2
先生は、授業やテストで間違えたと ころや、理解していないところにつ いて、分かるまで教えてくれている。 (どちらかといえば当てはまる。)		89.4	80.1	82.2	87.4	82.1	76.7	73.2	83.8
困りごとや不安がある時に先生や学 校にいる大人にいつでも相談でき る。(どちらかという相談できる。)		60.1	62.7	70.6	70.6	65.1	62.3	69.8	73.2
学校に行くのは楽しいと思う。(どち らかというと思う。)		80.8	80.7	86.1	86.5	82.0	81.7	84.7	86.1

小学校

- ・「将来の夢や目標を持っている。」の質問項目以外において、去年度よりも数値が上昇しました。
- ・「将来の夢や目標を持っている。」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。」は減少または低迷しています。特に「将来の夢や目標を持っている。」の項目は全国との差も大きいです。

中学校

- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。」の項目が3年連続低下しています。また、全国と比較しても－10.6pt とかなり大きな差があります。
- ・「将来の夢や目標を持っている。」の項目も3年連続緩やかに低下しています。また、全国と比較しても低い数値です。
- ・「自分にはよいところがあると思う。」や「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。」の質問項目については、去年度よりも数値が上昇しており、全国よりも肯定的な回答率が高くなっています。

共通課題

- ・質問紙の結果から、小中学校ともに「将来の夢や目標を持っている」「先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」の項目が全国平均を下回っていることが明らかになりました。これは、子どもたちが学びの意義を将来や自己の成長と十分に結び付けられていないこと、また、学習につまずいたときに「最後まで支えてもらえる」という安心感が弱いことを示しています。

【指導の改善の方向性】

こうした課題に対して、現在市内で進めている自主研究チーム「ONE STEPpers」の取り組みと方向性を重ねることが有効であると考えます。

第1に、個別最適な学びの観点から、一人ひとりのつまずきや進度に応じた支援体制を強化し、子どもが「先生は最後まで支えてくれる」という実感を得られるようにします。第2に、探究的な学びの観点から、地域や社会と結び付いた課題を扱い、学びが将来の目標や夢と直結するような授業デザインを工夫します。

今後は子どもたちが「学びは自分の未来に役立つ」と実感できるようにすることと、子どもが「分かるまで支えてもらえる」と安心できる学習環境づくりを両輪で進めていきます。

7 児童生徒の生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果（全項目）

※全国平均を 100 とした場合の本市の数値。105 以上を「緑」、95 未満を「赤」としている。

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
1	朝食を毎日食べている。どちらかという食べている。	芦屋市	91.7	92.4
		全国	93.7	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。どちらかという寝ている。	芦屋市	82.3	82.8
		全国	81.9	81.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。どちらかという起きている。	芦屋市	91.6	93.5
		全国	91.0	92.6
4	家では主に日本語で話している。	芦屋市	98.0	98.2
		全国	98.4	98.5
5	自分には、よいところがある。どちらかといえある。	芦屋市	86.8	87.1
		全国	86.9	86.2
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。どちらかという思う。	芦屋市	90.4	90.5
		全国	92.2	92.2
7	将来の夢や目標を持っている。どちらかという持っている。	芦屋市	77.0	65.6
		全国	83.1	67.5
8	人が困っている時は、進んで助けている。どちらかという助けている。	芦屋市	92.1	89.7
		全国	93.7	90.9
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。どちらかという思う。	芦屋市	95.8	95.7
		全国	97.2	95.9
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。どちらかというそう思う。	芦屋市	70.6	69.8
		全国	70.6	73.2
11	人の役に立つ人間になりたいと思う。どちらかという思う。	芦屋市	94.7	96.3
		全国	96.4	96.6
12	学校に行くのは楽しいと思う。どちらかという思う。	芦屋市	86.1	84.7
		全国	86.5	86.1
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。どちらかという思う。	芦屋市	78.1	79.1
		全国	78.1	79.2

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
14	友達関係に満足している。どちらかというと満足している。	芦屋市	89.4	90.8
		全国	91.7	91.4
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。ときどきある。	芦屋市	92.1	92.1
		全国	93.0	91.6
16	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することができる。どちらかといえばできる。	芦屋市	84.0	77.7
		全国	81.7	77.5
17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり3時間以上勉強をしている。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	芦屋市	33.2	13.3
		全国	12.1	9.9
18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり3時間以上PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている。（遊びなどの目的に使う時間は除く）	芦屋市	4.5	3.1
		全国	4.0	2.7
19	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり4時間以上、勉強をしている。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	芦屋市	24.5	11.3
		全国	7.4	5.3
20	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている。（オンライン授業の場合も含む）	芦屋市	59.8	71.8
		全国	35.7	52.0
21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上読書をする。（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）	芦屋市	10.1	4.7
		全国	6.4	3.6
22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。	芦屋市	別項にて グラフ表記	
		全国		
23	新聞をほぼ毎日読んでいる。	芦屋市	7.3	2.7
		全国	3.5	1.6
24	読書が好き。どちらかといえば好き。	芦屋市	80.0	62.5
		全国	69.7	61.6
25	これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をよくしていた。ときどきしていた。	芦屋市	81.2	80.1
		全国	80.6	75.7
26	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがよくある。ときどきある。（習い事は除く）	芦屋市	37.9	28.9
		全国	39.4	29.5

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
27	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。どちらかといえば思う。	芦屋市	82.9	77.9
		全国	81.3	75.3
28	これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、週 3 回以上使用した。	芦屋市	72.0	58.3
		全国	71.7	76.5
29 -1	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	80.4	82.3
		全国	81.8	83.6
29 -2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	91.8	90.0
		全国	89.8	91.5
29 -3	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	71.8	66.6
		全国	69.3	63.3
29 -4	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	82.3	81.8
		全国	76.7	76.6
30 -1	これまでの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、（１）自分のペースで理解しながら学習を進めることができる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	82.6	
		全国	81.3	
30 -2	これまでの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、（２）分からないことがあった時に、すぐ調べることができる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	90.3	
		全国	89.2	
30 -3	これまでの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、（３）楽しみながら学習を進めることができる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	82.8	
		全国	85.5	
30 -4	これまでの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、（４）画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	87.0	
		全国	88.1	
30 -5	これまでの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、（５）自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	78.0	
		全国	77.6	
30 -6	これまでの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、（６）友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	83.5	
		全国	84.6	
30 -7	これまでの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、（７）友達と協力しながら学習を進めることができる（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	85.3	
		全国	87.5	

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
31	これまでに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。どちらかといえばしていた。	芦屋市	71.9	60.9
		全国	68.6	63.0
32	これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。どちらかといえば取り組んでいた。	芦屋市	82.2	75.4
		全国	80.3	77.7
33	これまでに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。どちらかといえば行っていた。	芦屋市	79.5	69.3
		全国	77.8	70.6
34	これまでに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。どちらかといえばなっていた。	芦屋市	78.3	72.2
		全国	83.4	79.3
35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた。どちらかといえばできた。	芦屋市	85.9	86.3
		全国	84.9	84.7
36	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。どちらかといえばできた。	芦屋市	82.1	73.1
		全国	79.4	73.4
37	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。どちらかといえばできる。	芦屋市	83.4	73.9
		全国	82.5	74.8
38	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。どちらかといえば思う。	芦屋市	82.2	73.2
		全国	87.4	83.8
39	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	91.2	90.4
		全国	91.9	91.9
40	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	83.9	75.8
		全国	82.3	79.5
41	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。どちらかといえば決めている。	芦屋市	86.0	87.1
		全国	83.3	84.3
42	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	81.5	73.6
		全国	80.8	77.3
43	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	87.8	92.2
		全国	88.0	91.5

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
44	国語の勉強は得意だ。どちらかといえば得意だ。	芦屋市	64.1	54.3
		全国	61.4	51.4
45	国語の勉強は好きだ。どちらかといえば好きだ。	芦屋市	59.4	60.5
		全国	58.3	57.9
46	国語の授業の内容はよく分かる。どちらかといえばよく分かる。	芦屋市	84.7	80.3
		全国	82.8	77.0
47	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかといえば思う。	芦屋市	89.2	86.5
		全国	90.4	88.3
48	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかよく伝えてくれる。たまに伝えてくれる。	芦屋市	77.1	68.2
		全国	78.2	72.9
49	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかをよく教えてくれる。たまに教えてくれる。	芦屋市	72.9	59.9
		全国	75.5	70.2
50 小	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。どちらかといえば書いている。	芦屋市	83.1	
		全国	81.8	
51 小	国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている。どちらかといえば見付けている。	芦屋市	82.3	
		全国	79.1	
50 中	国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるかについて、根拠を明確にして考えている。どちらかといえば考えている。	芦屋市		74.0
		全国		74.0
51 中	国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えている。どちらかといえば整えている。	芦屋市		73.8
		全国		73.6
52	算数（数学）の勉強は得意だ。どちらかといえば得意だ。	芦屋市	64.0	46.9
		全国	60.3	46.0
53	算数（数学）の授業は好きだ。どちらかといえば好きだ。	芦屋市	61.4	57.1
		全国	57.9	53.8
54	算数（数学）の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。	芦屋市	83.3	77.3
		全国	78.3	70.3

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
55	算数（数学）で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかといえば役に立つと思う。	芦屋市	90.7	67.8
		全国	91.6	75.2
56	算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている。どちらかといえば活用できている。	芦屋市	85.3	53.0
		全国	83.3	57.9
57	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。どちらかといえば考える。	芦屋市	83.9	73.7
		全国	82.3	76.2
58	算数（数学）の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。どちらかといえば行っている。	芦屋市	73.1	60.9
		全国	65.5	58.6
59 小	小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている。どちらかといえばしている。	芦屋市	82.0	
		全国	80.6	
59 中	文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができる。どちらかといえばできる。	芦屋市		71.1
		全国		67.1
60	理科の勉強は得意だ。どちらかといえば得意だ。	芦屋市	75.8	42.0
		全国	78.4	50.7
61	理科の勉強は好きだ。どちらかといえば好きだ。	芦屋市	80.0	55.1
		全国	80.1	63.8
62	理科の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。	芦屋市	90.5	63.5
		全国	88.9	71.4
63	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかといえば役に立つと思う。	芦屋市	81.0	62.3
		全国	79.9	63.4
64	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。どちらかといえば就きたいと思う。	芦屋市	37.0	24.2
		全国	30.0	21.7
65	理科の授業で学習したこと（知識）を普段の生活の中で活用できている。どちらかといえばできている。	芦屋市	70.8	56.1
		全国	63.2	54.7
66 中	理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できている。どちらかといえば活用できている。	芦屋市		48.3
		全国		50.7

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
66 (小)	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている。どちらかといえば見いだしている。	芦屋市	71.1	52.8
67		全国	68.9	56.2
67 (小)	理科の授業では、観察や実験をよく行っている。どちらかといえば行っている。	芦屋市	91.1	77.1
68		全国	92.4	85.8
68 小	理科の授業では、問題に対して答えがどのようなになるのか、自分で予想（仮説）を考えている。どちらかといえば考えている。	芦屋市	84.9	
		全国	85.7	
69 中	理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てている。どちらかといえば立てている。	芦屋市		60.2
		全国		70.2
69 小	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。どちらかといえば考えている。	芦屋市	88.6	
		全国	88.4	
70 小	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。どちらかといえば考えている。	芦屋市	74.8	
		全国	76.0	
70 中	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことがみつかったか、振り返っている。どちらかといえば振り返っている。	芦屋市		62.9
		全国		68.4
71 小	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。どちらかといえば役立てている。	芦屋市	79.9	
		全国	80.0	

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
国 1	国語の文章で答える問題について、すべての問題で解答を書こうと努力した。	芦屋市	83.9	68.4
		全国	81.7	65.3
国 2	国語の解答時間が十分だった。（小：45分 中：50分）	芦屋市	73.6	71.8
		全国	73.9	67.8
算 1	言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、すべての問題で解答を書こうと努力した。	芦屋市	83.0	
		全国	74.5	
数 1	解答を言葉や数、式を使って説明する問題について、それらの問題について、すべての問題で解答を書こうと努力した。	芦屋市		61.2
		全国		54.9
算 数 2	算数（数学）の解答時間が十分だった。（小：45分 中：50分）	芦屋市	87.9	77.4
		全国	80.4	73.2
理 1	解答を文章などで書く問題について、すべての問題で解答を書こうと努力した。	芦屋市	83.2	
		全国	81.8	
理 2	理科の解答時間は十分だった。（小：45分 中：50分）	芦屋市	94.7	
		全国	94.1	

8 児童生徒の生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果（別項）

2 2 あなたの家には、およそどれくらい本がありますか。

